



## 薬の名前には意味がある

意味がある

△230△

どつちに似ている？

武藏野大学薬学部教授

阿部和穂

用を示したことから、意外な新薬として開発されたものも少なくない。今回はその一例として、「カルプロニウム」を取り上げたい。

カルプロニウムは、1969年に第一製薬から発売された「フロジン外用液」の有効成分で、円形脱毛症をはじめ各種脱毛症における脱毛防止・発毛促進及び乾性脂漏、尋常性白斑等の治療に用いられる。カルボニル基(carbonyl)、プロピル基(propyl)、四級アンモニウム基(ammonium)を含む化合物なので、carproniumと名付けられた。

医療用のフロジン液に4年遅れて、市販用が「カロヤン」という名前で発売され、「髪は長いい友だち」のフレーズが印象的なテレビCMで有名となった。

化学構造(図)を見ると、アセチルコリンに似ている。そのためアセチルコリン様作用を持ち、局所の血管拡張作用を示す。後に、血管内皮細胞のムスカリン受容体を刺激して一酸化窒素(NO)の産生を促進し、血管平滑筋を弛緩させ血流を増やすことが判明した。ただ、改めて化学構造を見直すと、窒素原子(N)に付いた炭素鎖が、カプロニウムではプロピル(炭素3つ)、アセチルコリンではエチル(炭素2つ)と異なることに気づく。あまり知られていないかもしれないが、カプロニウムの原型となったのは、アセチルコリンではなく、実はGABAだった。

GABAの合成が60年代に成功し、脳卒中後遺症治療薬として第一製薬から発売された。GABAは血液脳関門を通らないので、経口などの末梢投与では中枢作用を示さない一方で、血圧降下作用があることは古くから知られていた。GABAが発見されて間もない55年には、麻酔ウサギにおいて静脈内投与すると血圧降下作用が認められたと東京医科大学の研究チームが報告している(Jpn. J. Physiol. 5(4): 334-341)。そこで、より有効なGABA誘導体の研究が開始され、結果的に新たな血管拡張薬として見出されたのがカルプロニウムだった。

当初は胃下垂治療薬とされたが、後に発毛剤に応用されたという開発の経緯も面白い。

# 県内8病院6大学がPR

## 病院薬剤師フェスタ開催



### 千葉県病薬

千葉県病院薬剤師会は2日、千葉市内で病院薬剤師確保を目的とした「病院薬剤師フェスタ」を開催した。高校生、薬学生、復職を検討する薬剤師を対象に、県内の8病院と6大学が病院薬剤師や薬学部の魅力を個別ブースと講演会でPRした。来年度は定年退職後の薬剤師も対象として、知識・経験を病院に還元してもらうことを目指す。

千葉県は、南部や外房地域などで薬剤師不足が生じており、県内の薬学部に通じて確保が課題となっている。

フェスタは県の地域医療総合確保基金を活用して2023年度から実施しており、初年度は病院の勤務経験者は病院の勤務経験者がベースを設け、病院薬剤師がブースを設け、病院薬剤師の業務内容や働きがい、キャリアパス等を説明するなど交流・相談会を実施した。高校生向けに、調剤機器の展示・体験、白衣の着用イベントも行われた。

当日は高校生10人、薬学生9人、薬剤師4人を含め計32人が参加。県内の8病院、薬学部を有する6大学がブースを設け、病院薬剤師も参考対象にしており、飯塚雄生は「知識と経験を薬剤師も参考対象にしており、飯塚雄生は「知識と経験を

次会長は「知識と経験を薬剤師も参考対象にしており、飯塚雄生は「知識と経験を薬剤師も参考対象にしており、飯塚雄生は「知識と経験を薬剤師も参考対象にしており、飯塚雄生は「知識と経験を

次会長は「知識と経験を薬剤師も参考対象にしており、飯塚雄生は「知識と経験を

次会長は「知識と経験を

次会長は「知識と経験を